

桁曳網におけるズワイガニとアカガレイの網目選択性

宮嶋俊明・山崎 淳

(京都府農林水産技術センター海洋センター)

京都府の底びき網漁業では、ズワイガニ漁の際にはカニ網と呼ばれる網が用いられている。カニ網はズワイガニの漁獲に特化しており、低い網丈と比較的大きな目合が特徴である。コッドエンドには、呼称目合 5 節～4 寸の網が用いられているが、ズワイガニや同時漁獲されるアカガレイの網目選択性は明らかではない。

本研究では、京都府海洋調査船「平安丸」で桁曳網の操業を行い、ズワイガニおよびアカガレイの網目選択性を調べた。

[材料および方法]

2006 年 10 月～2007 年 8 月に京都府沖合の水深 180～320 m の海域において、合計 24 回の試験操業を行った。桁曳網に取り付けたコッドエンドの目合はそれぞれ 118.8 mm (4 寸)、85.6 mm (3 寸) および 72.0 mm (5 節) であった。コッドエンドには、目合 22.0 mm (14 節) のカバーネットを覆うように取り付けた。各目合における体長に対する選択率を、Logistic 曲線に適合させた。

[結果および考察]

ズワイガニの 50% 選択甲幅は、4 寸では 37 mm、3 寸では 28 mm、5 節では 26 mm であった (図 1)。アカガレイの 50% 選択体長は、4 寸では 208 mm、3 寸では 176 mm、5 節では 145 mm であった (図 2)。ズワイガニについては、4 寸を使用しても出荷サイズへの影響はほぼないが、甲幅 50 mm 程度の小型個体を保護することはできない。アカガレイについては、3 寸では単価の非常に安い体長 200 mm 以下の大部分の個体が漁獲されてしまうことがわかった。4 寸の使用により、これらの個体や、メスの未成熟個体 (体長 250 mm 未満) も保護することもできると考えられるが、このことによる他の同時漁獲物の減少にも留意する必要がある。

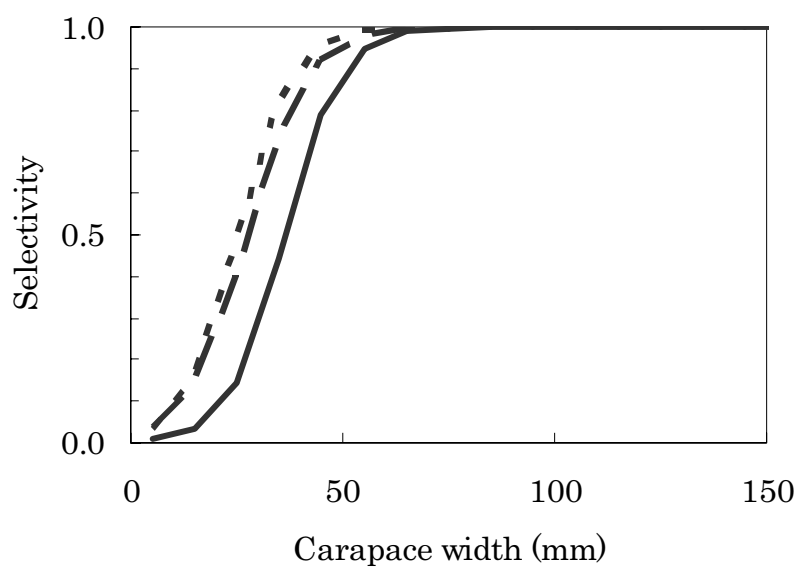


図1 ズワイガニの網目選択性曲線 (Logistic)
 点線：5節，破線：3寸，実線：4寸

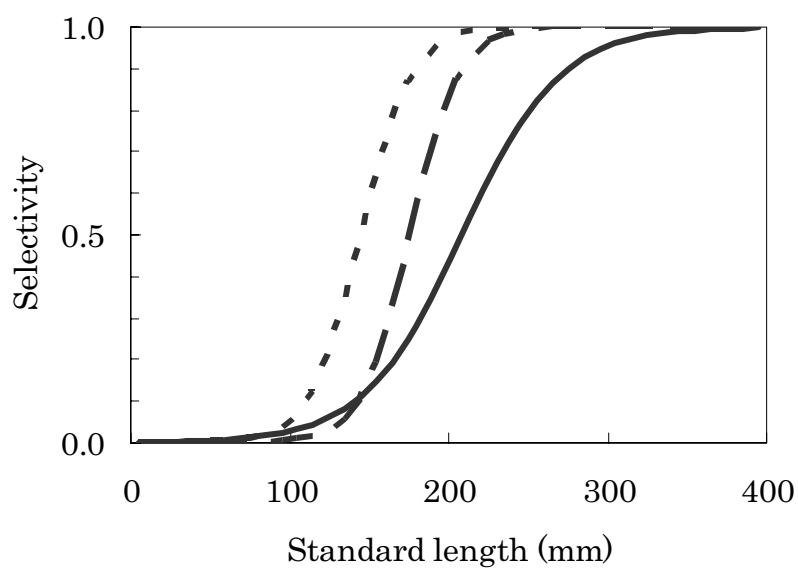


図2 アカガレイの網目選択性曲線 (Logistic)
 点線：5節，破線：3寸，実線：4寸